

放送日 令和4年2月1日（火）
担当者 都市計画課 三浦 裕人

おはようございます。企画財政部都市計画課の三浦裕人です。私は令和3年4月に入庁しました。

突然ではございますが、皆様は市役所の外から見たイメージを考えたことがあるでしょうか？私は、勝手に近寄り難い事務的な組織というイメージを持っておりました。

病院や歯医者、道でパトカーにすれ違った様ななんとも言えない独特な距離感を感じておりました。

重要な施設であり生活上、無ければ様々なことが滞ってしまうのはわかっけていてもそういうイメージを持っておりました。

しかし、入庁を機にイメージが一変しました。北広島市職員ひとりひとりの熱量や知識量それを活かす取り組み、こんなにも活力が溢れる組織であったのかと日々驚くばかりです。

朝のスピーチをはじめジョブローテーション研修や若手プロジェクトチームなどといった紹介しきれない程の研修やプロジェクト、新型コロナウイルスの影響もあり例年通りできていない状況でも新任職員を成長させる取り組みが充実しており、また、まちづくりに参加できる機会、意見を言うことができる場が非常に多く用意して頂いていると感じました。

4月からは後輩が入庁してきて私たちも先輩職員となります。後輩から諸先輩と同じ様に見られるという意識を持ち日々の業務に追われるだけではなく、様々な視点からまちづくりに取り組んでいかなければならないと感じました。人材が育つことが、なによりの市民サービスでありまちづくりであると感じた一年目でした。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月2日（水）
担当者 消防課 小野寺 辰貴

おはようございます。私は令和3年4月に北広島市消防職員として拝命されました、小野寺辰貴です。

私は辞令交付される前まで、漠然と消防士に憧れており、より多くの市民の命、財産を守りたいという一心でこの北広島市にやって参りました。そして、この街に住み始めてもうすぐ1年が経ちますが、様々な街の良いところを発見できました。

半年間、現場での活動を通し、自分の技量不足や未熟さを痛感しました。この不安を抱えたまま消防学校へ入校しましたが、そこで得られたものは大変大きく、自分の技術を磨く良い機会になりました。消防学校で一番感じたことがあります。それは集団の一員としての行動です。

訓練に置きかえると、一人のミスが仲間へ負担をかけてしまったり、活動を遅滞させてしまったりします。しかし、1人のミスを仲間でカバーし合うことにより、困難や問題を解決できることを何度も経験できました。この経験により、周りによく目を配り、状況を把握する力がついたと思います。

消防学校を卒業し、これからいよいよ現場での活動になります。学校では習っていない応用的なことばかりですが、多くの技術を習得していきます。

終わりに、消防人として、社会人として、まだまだ未熟ですが、2か月後には後輩が入ってきます。今の立場をしっかりと理解し、市民と地域の安全を確保するために日々精進していきます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月3日(木)
担当者 都市計画課 市川 嘉人

おはようございます。企画財政部都市計画課の市川嘉人です。令和2年4月に入庁し瞬く間に2年目となりました。私は社会人経験卒の採用であり、前職において、公的な立場の方々と共に取り組む事業に携わることや、折衝する機会が多々ありました。

しかしながら、都市計画課の業務は、経験や関連法などの知識が全く無く、新たな挑戦となり、自ら調べることは勿論ですが、拙いなりにも意見や疑問を持つこと、疑問を解決すべく先輩方から積極的に学ぶことを心がけてきました。また、2年間で担当も変わり、多くの業務に携われた経験に感謝しています。

更には、このタイミングでの配属となったことで、北海道ボールパーク F ビレッジとその周辺、北広島駅西口開発、これらを含めた様々な都市計画決定や変更等を審議する都市計画審議会といった、市の新たな都市計画関連業務に現在進行形で携わることができています。

新たな都市計画に取り組むことは、自らの糧となっており、今後も大きな関連業務や新たな課題等が控えていますが、経験を基に向き合ってまいります。

しかし、自分一人の力は非常に微力です。自らの業務の専門性や知識を高め、アンテナを高く張り、多くの情報を得ることや視野や興味を広く持つことは勿論ですが、何より、関係各所の様々な観点から協力してまちづくりに取り組むことが肝心だと感じるこの期間でした。

本日は節分です。帰宅後、今年の恵方である北北西を向き、家族や自分、お世話になっている方々、そして北広島市の今後を祈りながら恵方巻を食べるとともに、豆をまき、邪気を祓うことで、無病息災を願います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月4日（金）
担当者 税務課 石尾 尚之

おはようございます。総務部税務課の石尾尚之です。

令和2年の4月に入庁し市民税担当として配属されました。住民税の賦課業務を主に担当しており、確定申告などで直接市民の方と関わる業務も多くあるため、刺激的な毎日を過ごしています。入庁して約2年が経ちますが、今日のスピーチでは、私の職場環境について話していこうと思います。

私は24年間生きてきて初めて、いじられ役というものになっています。昨年4月に異動して来られた先輩にいじられ始めてから他の先輩方にも、自分の改善点を冗談交じりに言っていただけるようになりました。それによって今自分に何が足りないのか、何をしなければならないかを考えるチャンスをいただけます。なんでもハラスメントと呼ばれてしまう時代の中で、直接伝えていただけることに非常に感謝しております。

以上のことから、私の今年の目標は、より多くの方とコミュニケーションをとり、自分だけでは気づかない点を改善していき、社会人として成長していくことだと思っています。

話は少し変わりますが、最近嬉しかったことがあります。それは先週、時間外の業務が始まる前に私の担当主査がカレーライスを振る舞ってくれたことです。味はもちろんのことですがほかの人に幸せを分け与えるその姿に感銘を受けました。なりたい自分を示してくださる諸先輩方には感謝しかありません。

日ごろから気にかけてくださる方々への感謝を忘れず、日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月7日（月）
担当者 職員課 平野 岬

おはようございます。職員課の平野岬です。

もうすぐ、新卒として入庁し、丸2年が経とうとしています。今年度の約1年間は職員採用を担当し、採用試験の準備や、受験者、また、内定者への案内などに従事しています。

この業務において特に心がけていることは、受験者や内定者一人一人に対し、丁寧に案内をすることです。これは、私自身がこの市の受験者であった時に、筆記試験を担当された職員の明るさに驚いたとともに、面接試験の控室では、当時の採用担当者がたくさん話しかけてくださったことで「この市で働きたい」という思いが強まったためです。さらに、内定後もまめに連絡をいただき、就職という初めての経験への不安を取り除いてもらえ、ほっとしたことも理由の一つです。

この意識は、採用業務だけでなく、その他の業務にも通じるものだと思います。来庁者のみなさま一人一人に丁寧な対応を心がけることで、市全体の印象の向上や、心地よい生活のサポート、そして日々の笑顔につながるのではないのでしょうか。現在、内定者の方々も、春には後輩職員として共に仕事をする仲間となります。私もまだまだ未熟ではありますが、身近な存在として、後輩たちの手本となれるよう、接遇の向上に努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月8日（火）
担当者 税務課 佐々木 淳子

おはようございます。総務部税務課の佐々木淳子です。

私は日々の業務で意識していることについてお話しします。

入庁してから2年がたとうとしていますが、最近、改めて「市民目線にたつ」ことの大切さを感じました。私は税務課で土地にかかる固定資産税を担当しており、日々の業務では土地の評価事務などに加え、窓口でのお客さま対応も多く行っています。私は実家が遠方にあるため、家族とよくビデオ通話をしますが、その際に、税金のことについて聞かれることがよくあります。あまり知識のない家族に対して、わかりやすく、組み砕いて話すことは難しいと感じると同時に、窓口や電話対応での自分の説明が本当にお客さまに理解してもらえているだろうかと不安に感じました。振り返ってみると、専門的な言葉や、業務上で使っている略称などを使用してしまい、お客さまからは分かりづらい言葉で話してしまっているなど反省しました。入庁してからの2年間で税金に関する専門的な言葉が身につけてきた分、市民の方への説明には、一般的でわかりやすい言葉選びをするよう、より一層心掛けなければならないと感じました。

税務課の業務は、最終的に市民の方々に納得して納税してもらうことが目的だと思います。税金について全く分からなかった入庁当初の自分でもわかるような説明を日頃の業務で意識し、「市民目線」で考えることで、より多くの市民の方々から納得して納税してもらえるよう、業務を行っていきたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月9日（水）
担当者 税務課 永坂 唯人

おはようございます。令和2年度に社会人経験者として採用となりました税務課税務係の永坂唯人です。さて、いきなりではありますが、皆さんの小学生のころのなりたかった職業はなんだったのでしょうか。最近のランキングでは、上位にそれぞれ男子がスポーツ選手やゲームクリエイターで女子がユーチューバーや芸能人だそうです。なぜこの話をしたかと言いますと、自分の仕事に誇りを持つ意味でも市役所職員の魅力を伝えて市役所職員のランキングを1位にしたいという考えがあるからです。現在のランキングは、男子が37位で女子では87位だそうです。小学生が上位に選ぶ職業の傾向として、実際に体験しているスポーツやゲーム関連やテレビ等でよく見る芸能関係など日常に関わりがある職業が上位に選ばれやすいと考えられます。そのため、例えば直接関わるチャンスである、税の教室で小学校を訪問した際に魅力的な職業だと思ってもらえるように創意工夫をした授業を行うことでアピールしたり、直接関わらない日常の業務でも、丁寧な窓口対応や迅速な事務処理等を心がけることで多くの人々に認めてもらえるよう努力をしております。ちなみではありますが、私の小学生の時の夢をどうしても思い出せなかったので母親に確認したところ空飛ぶヒーローになることだったそうでしたので、入庁を機にこれはあきらめることとし、職員の皆様とも力を合わせて努力し、どんな人からも憧れの対象となるような職員を目指して、いつか市役所職員をランキング1位にすることができたらなと考えております。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月10日(木)
担当者 総務課 菊池 祥平

おはようございます。総務部総務課の菊池祥平です。

私は、昨年度より法制担当として例規の審査を中心とした業務を行っています。

改めてこの2年間を振り返った中で印象に残っている出来事があります。昨年度10月から4か月間、民間企業等派遣研修として市の顧問弁護士を務めている川守田先生の事務所に事務員として働かせていただいたことです。事務所では訴訟関連文書の作成及び準備、裁判所との連絡調整等のお手伝いをさせていただきました。ときには、直接先生から裁判手続などの形式的な面及び裁判を行う上での心構えなどの実践的な面についてお聞きすることもできました。その中で、答弁を行う上での重要なことについてお聞きしたときに、判例や法解釈にとらわれるのではなく、事実を積み重ねることが裁判での勝利につながると教えていただいたことが非常に印象に残っています。実際に先生の証人尋問を見学させていただくと、感情に訴えるのではなく、実際に何が起きていたかという事実について質問し、そこで得た事実から法律を当てはめ、論理的な文章として構成して、相手に反論されていました。これを自分の業務に当てはめて考えると、例規を審査する上で法令上のルールや知識の習得が必要だが、それだけにとらわれるのではなく、新たに作られる例規によって生じる事象、それによる問題点等の事実を積み重ね、その事実を基に例規の審査を行うことが重要なのだと感じました。自分はまだまだそうした事実の積み重ねが十分であるとはいえませんが、法制担当としての目指す職員像が明確となった研修になりました。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月14日（月）
担当者 税務課 近藤 美雪

おはようございます。総務部税務課の近藤美雪です。

私は令和2年の10月に入庁し、税務課の納税担当として配属されました。今日のスピーチでは、私の好きなものと、日々の業務で大切にしていることを紹介したいと思います。

私は大の甘党で、なかでもチョコレートが大好きです。毎年この季節は百貨店で開催されるチョコレートの催事に足を運び、普段日本では販売されていない限定のチョコレートを購入したり、ショコラティエさんのトークショーやサインをもらいに行ったりと、胸が高鳴る季節です。このスピーチの機会にと、チョコレートについていろいろ調べてみました。チョコレートの原料であるカカオは木の枝にいくつもの花を咲かせるようで、カカオの花言葉は『親切』『神聖』『片思い』だそうです。バレンタインデーにぴったりの花言葉のようにも思います。その中でも、『親切』という花言葉は私が日々の業務で大切にしていることの一つです。

私の現在の業務は税金を納めることが困難な方の納税相談です。市民一人ひとりの生活状況を聞き取り、いかに早期完納を導けるかが重要です。様々な事情を抱えた市民の方々の対応は正直、難しいと感じる瞬間があります。そのような時でも、親切丁寧な対応を怠らないよう、心がけています。また、市民の方々に対してはもちろん、丁寧に業務を教えてください、親切なたくさんの先輩方に、今後親切を返せるよう、これからも努力していきたいです。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月15日（火）
担当者 環境課 大木 雄哉

おはようございます。環境課の大木です。

前職は十勝の農協で3年間働き、昨年の四月に北広島市役所に入庁し、早いもので2年が経とうとしております。職場環境にも恵まれ、日々充実した市役所生活を皆様のおかげで過ごしております。ありがとうございます。

環境課では、廃棄物や省エネなど文字通り環境について多岐にわたる業務があります。その中で私が担当している業務の一つに有害鳥獣駆除の業務があります。有害鳥獣といっても色々ありますが、年々頭数も被害額も増加傾向にある鳥獣が存在します。アライグマです。

アライグマというところまで脅威となるイメージはないかもしれませんが。しかし、令和2年度に全道で捕獲された数が約2万6千頭、農業被害額が約1億4千万円という数字を聞くと考えが変わるのではないのでしょうか。

市だけでなく、道全体で日々対策を講じています。

このように、実は全道的に大きな問題となっているアライグマですが、そもそも本来道内には生息しておらず、ペットとして輸入したが、飼いきれず捨てられた個体が繁殖したことがきっかけです。

つまり、当事者としては軽い気持ちで行った無責任な行為が、非常に大きな問題になり様々な方々に迷惑をかける結果になってしまった事例と言えます。

ペットだけに留まらず、仕事やプライベート等どんな些細なことでも責任というものには必ず生まれます。

私自身も、自分に任された一つ一つの業務に責任を持ち、今後の市役所人生を過ごしていきます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月16日（水）
担当者 福祉課 中澤 拓也

おはようございます。保健福祉部福祉課の中澤拓也です。私は令和2年4月に北広島市役所に入庁し、来月いっぱいまで早2年が経過しようとしています。入庁から今日にいたるまで、周囲の方々の支援や指導のおかげで、様々な知識や経験を積み重ねる充実した日々を過ごしております。

現在、私は生活保護業務を担当しており、ケースワーカーとして、様々な理由で生活に困っている方々が、自立した生活を送れるように、一人一人に応じた支援や援助を行っています。私はこの業務に携わる上で、常に視野を広く持つことが大切だと考えております。例えば、生活に困っているといっても、そこに至るまでの経緯や現状は三者三様であり、支援内容についても、一人一人全く異なります。しかし、ケースワーカーの視野が狭い場合、生活に困っている方に対して提示できる選択肢は少なく、また、自身の物差しで相手を測ってしまい、考え方が主観的になる可能性もあります。そのため、視野を広く持つことは、その人が置かれている状況を深く理解し、柔軟な対応や課題の解決につながると考えております。このことは入庁時から自身の目標として掲げていましたが、生活に困っている方から相談を受ける上で改めて大切にすべきだと実感しました。今後もより視野を広く持てるよう、自身の業務だけではなく、他の部署の業務に関する知識や経験を身につけ、生活に困っている方に対し、一人一人に寄り添った支援ができる職員を目指し、自己研鑽に励みたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月17日(木)

担当者 高齢者支援課 浅野 匡昭

おはようございます。高齢者支援課の浅野です。

私は、令和2年4月1日付で、民間企業等経験者枠で採用されました。本日は、私の前職での失敗談についてお話しします。

私が以前勤めていたところにはいくつもの細かいルールがあり、その中の一つに、車は必ずバックで駐車し、できるだけ誰かが誘導するというものがありました。助手席に人がいる場合は、助手席の人が降りて、車の右後方で「オーライオーライ、3m、1m、50cm、30cm、ストップ」ぽんぽん、という誘導を行います。

13年くらい前のある日、私はいつものように助手席から降りて誘導を行いました。運転をしていたのは直属の上司です。車が止まり、私はトランクを開けるため車の後ろに行くと、止まったと思っていた車が再びバックし始めました。車はまだ完全には駐車していなかったのです。私は回避しようとしたのですが、少し間に合いませんでした。足をさする私に、降りてきた上司は言いました。「急に後ろにきたら危ないだろ。」危ないというかもうぶつかっていたのですが、私は車の進行方向に不用意に立ってしまった自分の行動をまず反省しました。

上司の後方不確認を除けば、この事故の要因は2つです。車が完全に駐車し終わったかどうかの確認不足と、私の誘導が上司に伝わっておらず、連携がとれていなかったことです。確認を怠らないことと、連携をとるということは、どんな業務においてもとても重要なことです。みなさんも私と同じような目に合わないとも限りませんので、くれぐれも気を付けてください。また、車をバックする際は必ず後ろを確認しましょう。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月18日（金）

担当者 保険年金課 佐藤 悠生

おはようございます。保険年金課の佐藤悠生です。

突然ですが、皆さんは、10年後と聞いて何を想像されるでしょうか。

10年後の2030年頃、社会は「プレシングュラリティー」に到達すると言われて
います。「プレシングュラリティー」とは、「人工知能（所謂 AI）が人間の知能を超
す前段階」のことであり、「AIによって社会の仕組みが目に見えて変化する時点」
のことを指します。

では、「目に見える変化」とはどのようなものでしょうか。2015年、野村総研と
オックスフォード大学の共同研究チームは「2025年~2035年の間に日本国内の約
49%の仕事がAIに代替される」という試算を発表しました。

同研究のレポートでは、「レジ係・受付係・一般事務員等」既に民間企業において
AI化が始まりつつある業務から、「銀行の融資・窓口担当等」ひと昔前まで安定し
た職業といわれた仕事まで、100種類にも上る職業が「消える職業」として例示さ
れています。

これらの事柄は、市職員にとって対岸の火事なのでしょうか。先述の事象が起き
れば、市民からのニーズや悩みは当然変容し、業務内容もAIに代替可能な仕事が増
えるので、今後職員として求められるスキルや在り方が、現在とは異なることは
火を見るよりも明らかなことです。

「10年前の当たり前」が「今の当たり前」とは異なったように、「今の当たり前」
は「これからの当たり前」とは異なるものとなっていくことでしょう。

以上を踏まえ、私は「来るべき当たり前」が市民の幸せに直結するよう、日頃か
ら常識や前提を疑いつつ、能動的な姿勢で業務に取り組む職員になりたいと思いま
す。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、
「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を
徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月21日（月）
担当者 子ども家庭課 花島 夏芽

おはようございます。子育て支援部子ども家庭課の花島夏芽です。令和2年の4月に入庁し、もうすぐ2年がたとうとしています。この2年間で、手当を給付する業務から、子どもの権利条例の普及啓発まで幅広い業務にかかわる機会をいただいています。

みなさんは北広島市に子どもの権利条例があるのをご存知でしょうか。北広島市子どもの権利条例は、今年10周年を迎えます。しかし、条例の認知度はあまり高くありません。私たちの周知不足もちろんあると思いますが、関心を持ちにくい理由の一つに「権利」という言葉のイメージがあるのではないかと私は考えています。

「権利」と聞くとどこか難しく近づきたい印象があるかもしれませんが、条例に書いてあるのは、安心して生きられることや、学びや遊びを通して健やかに育つこと、自分らしさが大切にされることなどの誰にとっても「あたりまえ」であるはずのことです。

子どもの権利条例について親しみをもって知ってもらうため、令和3年度は新たにイメージキャラクター「けんリーナ」のリニューアルや、クイズを用いて権利条例を紹介するパネル展を行いました。パネル展のアンケートには「とてもよかった」「小中学校などもっといろんなところで行なってほしい」という声もあり、いろんな方法で啓発していくことの重要性を感じています。

令和4年度は10周年。周年事業を通じて認知度が向上するよう、権利を身近に感じられたり、楽しく条例を知ってもらえるようなイベントを企画していきたいと思えます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月24日(木)
担当者 都市整備課 山田 真嘉

おはようございます。建設部都市整備課の山田真嘉です。私は入庁以来、公園整備担当として、老朽化した遊具の更新や公園全体の改修工事を行ってきました。

公園の改修を実施する際は従来であれば、地元町内会と直接意見交換を行い、地域の要望を確認した上で内容を決定します。しかし、コロナ禍の影響で書面と電話のみで確認せざる負えない状況となっています。このような背景から、地元町内会の方と電話でやり取りをさせていただく機会が何度かあったのですが、質問を受けたい際、簡潔にお答えすることができず、長くて理解しづらい説明になってしまうことがありました。

私は市民の声をしっかりと反映させ、地域に密着した仕事を行うことが市役所の職員としての役目であり、やりがいでもあると考えております。ですが、今の私にはいただいた意見を反映させるうえで必要なコミュニケーション能力や語彙力といったものが不足しているということを今回の件で実感しました。他にも語彙力は致命的だと感じるエピソードがあります。先日、総務課の同期である菊池主事の朝のスピーチを聞いた際に、話の構成がとても上手く、声も話すスピードも聞き取りやすく凄いな！と思った私の口をついて出た言葉は「菊池君は話し方が頭いい」でした。それを聞いた先輩職員から「その表現が頭悪い」と言われ顔から火が出そうでした。

市民対応に限らず、職員間で意思疎通を行う上でもコミュニケーション能力や語彙力はとても大切なものです。今後は足りない部分の向上に努め、市民へより良い暮らしを提供できる職員になれるよう頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月25日（金）
担当者 経営管理課 清水 航平

おはようございます。水道部経営管理課の清水航平です。令和2年4月に入庁し、もうすぐ2年が経とうとしています。私が在籍する経営管理課では北広島市で唯一の公営企業である上下水道事業の経営を担っています。

上下水道事業は水道料金及び下水道使用料を収入源とする独立採算制を敷いており、法適用している当市上下水道事業は民間企業と共通の会計規則を用いた経理処理を行うなど、市役所内ではある種ガラパゴス的な業務があります。

経営管理課の業務の集大成に決算があり、これによって出来上がる書類を決算書と呼びますが、一言で表すと「企業の成績表」です。私は前職経験があり、仕事柄多くの決算書に触れる機会がありました。そのような経験の中で、ある経営者の方から「決算書は会社の歴史であり、血と肉みたいなものなんだよ」と教わったことがあります。自分自身が決算書を作る立場となったことでその言葉が身に染みて感じます。なぜなら決算書は、正確な経理事務はもちろん、資金の管理や調達、経営戦略の策定、料金収入の調定、その他にも契約審査事務など多岐にわたる業務の日々の積み重ねによって完成されるからです。その積み重ねによって当市の上下水道事業は今日まで健全経営を続けられてきており、ここまで築きあげてきた諸先輩、そして今を舵取りする先輩職員方の賜物だと思っています。

私自身も先輩職員方のサポートを多々受けながらも、その一端を担わせていただいている立場として、今後も一步一步成長するとともに、なにより日頃から上下水道を利用いただいている市民の方々へのために仕事に邁進していきます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和4年2月28日（月）
担当者 水道施設課 佐藤 祐也

おはようございます。水道部水道施設課の佐藤祐也です。現在私は水道施設課の工事担当として、主に水道管の改良工事に係る設計積算業務や、工事監督業務を行っています。

水道管の改良工事では、老朽化した水道管を新しい水道管に更新します。水道を利用している方が給水管を接続している古い水道管から、新しく設置した水道管に接続しなおす作業や、古い水道管と新しく設置した水道管をつなぎ合わせる作業が必要なことから、工事の中でどうしても一時的に断水となります。また、設計を行う段階で、作業の手順や施工方法について十分に検討しないと、工事中に様々な要因から長時間の断水が起きてしまう可能性があります。

毎日、蛇口を捻れば水道水が出てくる事が、多くの方にとって当たり前の事だと思えます。当たり前な分、急に利用ができなくなると、利用者に変な負担をかけることとなります。そのため、工事の中で断水の回数や、時間になるべく少なく済むよう、設計する事を心がけています。

私は令和2年3月に入庁し、北広島市職員として2年が経ち、明日からは3年目となります。今後は、より幅広い業務に対応できるよう、日々の業務に励みたいと思えます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。